

地域力でゼロ災へ



公式HP

災害による被害をゼロに近づけていくこと。それがゼロ災です。

1 地域力で守る

■都立高校を避難所として活用する ■避難所開設訓練を推進する
■福祉避難所、福祉避難スペースを充実させる ■簡易ベッド、屋内型
仕切り、温水シャワーなど、避難所環境を整備する ■高速道路を緊急避難経路として活用する ■感震ブレーカーを補助し出火
を防止しつつ、木密地域の解消を目指す ■いつでも、いかなるときでもつながる通信環境を整備する ■エレベータ閉じ込め防止、
マンホールトイレ整備、太陽光発電設備設置によりマンション防災を強化する ■防災備蓄倉庫の補助により町会自治会の防災力
を強化する ■防災訓練を通して、町会とマンションの連携を強化する ■内部河川(横十間川、北十間川、堅川、小名木川、大横川、
仙台堀川、平久川)を耐震強化と親水性を両立させて整備する ■発災時に活用できる水上輸送体制をつくる

2 地域力でいきいき暮らす

■区内の高齢者施設を分散配置する ■地域見守り拠点を整備する
■都市型孤立対策を充実させる ■早期発見、早期受診を促すため、
がんや認知症の簡易検査キットを配布する ■自己負担なしで後期高齢者の医療歯科健康診査を実施する

3 地域力で暮らしを支援

■水道料金の無償化(1世帯5,000円程度)に加え、夏のエアコン使用をさらに
促す取り組みを推進する ■家計支援と経済対策として、ポイント還元を
活用する ■物価上昇に対応して賃上げを実施する中小零細企業を支援する ■安心して働ける労働環境を目指し、カスタマーハラスメント
対策を行う事業者や団体を支援する ■障害者雇用、リスキリング支援、DX人材の育成によって中小零細企業の人材育成を支援する

4 地域力でこどもを育む

■一人一台端末の更新に際し、財政面と運用面で支援する ■当事者
のニーズに沿った子育て世代へのサポート事業にアップデートする
■看護師や保育士などの専門職を活用して医療的ケア児の日常生活を支援する ■学校を活用して平日の朝の子どもの居場所を
確保する ■学童クラブ(きっずクラブ)待機児童を解消する ■こどもたちのスポーツに親しむため東京辰巳アイスアリーナを活用する
■TOKYO GLOBAL GATEWAYを積極的に活用しグローバル社会で活躍する人材を育成する

5 地域力で創る

■日常生活への影響が最小限度となるように地下鉄8号線延伸工事を
推進する ■利便性の高い場所に東京ビックサイト駅設置し、海の森方面
への延伸を想定して都心部・臨海地下鉄を整備する ■自動運転の社会実装促進事業を活用して臨海エリアの交通網を整備する
■今と未来を同時に見据えた臨海部の未利用地を活用する

「やまざき一輝を勝たせてください」 江東区長 大久保ともか 衆議院議員 大空こうき



やまざき
一輝
いっ
き

●昭和47年12月12日生まれ(52歳) ●めぐみ幼稚園卒 ●第四砂町小学校、第二南沙中学校卒業 ●東海大学浦安高校卒業 ●東海大学体育学部中退
●(株)東京貸物社 ●東京都議会議員山崎孝明秘書 ●江東区長山崎孝明秘書 ●東京都議会議員(4期) ●自民党東京都連青年部長、青年局長 ●都議会
自民党幹事長、政務調査会長 ●都議会財政委員長、豊洲市場移転特別委員会、オリパラ特別委員長 ●江東区カヌー協会会長、江東区ラグビー協会会長など